

## ホーチミンでの日本語教師ボランティア その2

9月11日（日）～13日（火）、妻（木曜教室 小林和枝）がベトナム ホーチミンに来ました。12日午後と13日午前に、私が日本語を教えている ITM 第1センター（学校）に連れてきました。学校はホテルから約4 km、タクシーで約15分程の所にあります。

学校では、私と一緒に日本語の授業をしたり、女性の実習生、ベトナム人教師に浴衣の着方を教えたりして大好評でした。持参した浴衣は4着で順番に着せ、その後に写真を撮ったりしました。壁に掛けた大きなスクリーンには郡上踊り、盆踊り、炭坑節、ヨサコイの映像を映し、着付の合間をぬって日本の踊りを紹介して、映像に出てくる浴衣を着た日本女性についての話もしました。殆どの人は浴衣が初体験で、実習生もベトナム人教師も浴衣を着るのを楽しみにしていたようで、一旦着るとなかなか次の人が待っているにも関わらず脱ごうとはしません。次回、もし機会がありましたら、もう一度やりたいと思っています。



着付を教えている最中



浴衣を着た後の記念写真



炭坑節のレッスン



郡上踊り春駒のレッスン

ベトナム ハノイ市とホーチミン市で話題になっているボランティア活動があります。日本人が設立した団体で毎週日曜日の朝、ゴミを拾う活動です。その他、高齢者を支援する活動もしているようです。

本日（9月18日）、その活動に参加しました。朝8：00に中央郵便局（ホーチミンでは有名な観光スポット）前に集合し、近くの公園、教会の周りのゴミ拾いをしました。主催者側からトング（金属製の大きな箸）と大きなビニール袋が配られ、ペットボトル、ビニール袋などの様々なゴミを拾います。参加者は30名程で、ベトナム人、日本人はほぼ同数で、男女比もほぼ同じでした。1時間程、ゴミ拾いをした後、公園で飲み物を飲みながら、それぞれが雑談をして解散です。ベトナムに駐在している日本人と日本語に興味があるベトナム人が中心のようです。私はITMの実習生に誘われ今回参加し、その実習生は私の前任の女性ボランティア教師に誘われ始め、その教師が日本に帰国後も継続しているとのことです。私も暫く、この活動を続けるつもりです。

2016. 9. 18

